入善町報

発行所　入善町役場
編集発行　責任者　中田憲政
印刷所　田中印刷所
定価1部5円

町政

九月町議会の大要

予算の追加・教委任命同意など

第九回町議会定例会は、九月二十七日に召集されたが、同日午前九時から午前中全体協議会、午後一時から本会議が開設された。

この議会では、(1)町財政再建計画の一部変更、(2)町予算の追加更正、(3)教育委員会委員の任命の同意、(4)その他数件取扱われた。

第三回追加更正予算

▽歳入（主な増減）

町税の増収二〇〇万円余
地方交付税の増　三六七万円余
国庫支出金の減　一八九万円余
県支出金の増　三一五万円余
寄附金の増二三五万円余
諸差引増　一、三八六万四千円
歳入合計額　一億五、二八八万八千円

▽歳出（主な増減）

計上予算のうち約一千万円を削減した組替をなし、西入善駅新設事業費負担金などに当てたもの
道路橋りょう新設改良費の減　一六五万円
都市計画事業費の増（上町君島線）二五〇万円
新町建設事業費（町道上田上飯野線新設）　四八〇万円
町営住宅建設取止め　減　五七八万円余
入善高等学校建設費負担金　一六〇万円
西入善駅新設事業費負担金　六〇〇万円
追加総額　一、三八六万四千円
歳出合計額　一億五、二八八万八千円

町教育委員会委員の任命に関する同意

若島助右エ門氏（二年委員）任期満了につき新田義政氏を任命

合併問題につき協議

町議会では、入善町と舟見町（朝日町野中地区の一部を含む）との町村合併問題について、九月三十日午後五時から緊急協議会を開いて協議した。

地方自治法の特例によると、昭和三十年九月三十日までに申請すると、人口三万以上で市とすることができることになっているので、それに間にあわせるよう入善、舟見両町の合併決議を急いだが、事務的に間に合わないなく、午後十一時過ぎ、未解決のまま散会した。

「黒東市制」問題

時期尚早ときまる

十月十八日、町議会全体協議会を開いて、十七日付地方新聞の発表による「黒東市制」問題につき協議した。

新聞発表の黒東市建設協議会なるものは、入善町当局及び同町議会としては何ら関知していないものであるが、これについて町議会で協議した結果、黒東市制は将来はともかく現在においては時期尚早であると、その態度を明らかにした。

入善 舟見 合併の問題

野中は住民投票

富山県市町村建設促進審議会は十月二十八日県庁で開催、野中地区の分離問題にき討議の上、昨年三月に知事へ答申した通り分離希望地区住民投票に付することにきめ、知事に答申した。

これにより野中地区三八〇世帯のうち、藤塚、横道下野など一一世帯を除く二六九世帯の有権者七九七の住民投票によって分離の決議、しないをきめることになる。

住民投票は、知事が朝日町選管に請求してから三十日以内に同町選管が執行しない場合は、県選管によって行われるのである。

住民投票によって分離問題がかたづき、舟見町と合併をなしたうえ、入善町と舟見町が合併するという段どりなので、合併は見とおしがついたといえる。

区長連絡協議会の総会

十月二十四日午後二時から中央公民館で区長連絡協議会の総会が開かれた。

その席上米沢町長から昭和三十三年度町予算の状況の説明があったほか、諸問題について話が交されたが、たまたま話題にのぼった黒東市制問題について、つぎのような決議を行った。

決　議

一、昭和三十三年九月十五日入善・舟見（野中分離地区を含む）町々民大会決議事項の即時実現を期す

一、朝日町の提唱する黒東市制には反対する

右決議する

昭和三十三年十月二十四日

入善町区長連絡協議会

入善町風土記

…51回…

藤田家と親鸞聖人　2

竹内慎一郎

藤田家の祖先の出身地であるという鳥屋野（とやの）という地名は、信濃川の東岸新潟駅の南一キロ位の所にあって、越後七不思議の一つ「逆さ竹」で有名な西方寺竹林と、親鸞布教の趾である大師草庵趾がある。

「逆さ竹」というのは、親鸞が越後に配流中越後各地を遍歴し、鳥屋野に一草庵を建て、念仏の要義を説いた。しかるに住民は疑心をいだいて悪評をたて、帰依する者がまれであったから、

この里は親の死した
る子はなきか御法の
風になびく人なし

と歌い、持っていた竹杖を地面につきさして、「私の教義が眞に仏意にかなうものであれば、この枯竹から必ず根と芽が出て、しかも枝がございのまま末代まで繁茂するであろう」と言った。ところが不思議や、その通りになって生い茂った。

という云い伝えがある。淡竹（はちく――普通の竹）の一変種で、枝が節から下へ垂れ下がるので、今この竹林は天然記念物として保護されている。

親鸞は念佛宗停止の弾圧によって承元元年（七五一年前）越後に流され、師の法然は、土佐に流された。当時親鸞は三十五才、法名を善信と称していたので、罪名藤井善信と名のって入善地方を通り、越後へ赴いた。

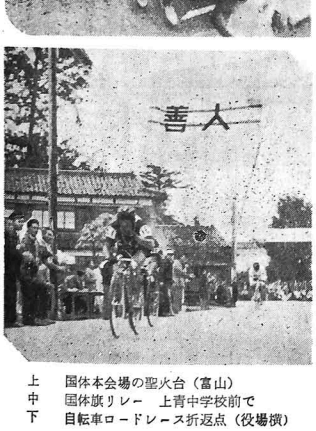
越後に滞在中、名を愚禿親鸞と改めたといわれる。配流五年、建暦元年（七四七年前）罪を許され、翌年京都へ帰ろうとしたが、途中で師の法念の死を聞き、もはや帰京の甲斐なしとして伝道の地を東国に求め、常陸の国に移り、下妻三月寺小島、笠間郡稲田等に草庵を結んで、十余年の間ここにいたという。

藤田家の由緒書が正しいものであるとすると、越後の鳥屋野で藤田家の始祖与次右エ門が親鸞に帰依し、ためみの六字の御名号を敬崇信心し数代を経たが、いつの頃か、越中福光に移住し、今より五六八年前（明徳元年）当代与次右エ門が綽如上人の教化をうけ、井波瑞泉寺建立に協力したことになる。

綽如上人は本願寺第五世の法嗣で、第四世善如のあとをついで法主となったのが四十才のときであった。しかし間もなく嫡男の巧如（十四才）に職を譲って隠居し、越中砺波の杉谷村（今の井波）に赴き一寺を創建した。これが後に瑞泉寺（井波別院）となったのである。大谷寺誌に「当時近畿騒乱教を布き難きを以って法務を法嗣巧如上人に委ね越中に巡錫す云々」と記しているが、当時は南北朝末期の騒乱寺々で、何からずらわしいことがあって越中へ遁世したものようである。明徳四年、四十四才で死亡した。

参考文献

大日本地名辞書、日本地名大辞典、日本植物図鑑、大百科事典、世界大百科事典
越中史料、越中志徴、越中の聖せきと越中に来た先哲の跡、宗教の門、



上　国体本会場の聖火台（富山）
中　国体旗リレー　上青中学校前で
下　自転車ロードレース折返点（役場横）

美と力の祭典

国体おわる

第十三回国民体育大会が本県で開催された。

この国体秋季大会は、十月十九日から二十三日まで五日間富山市を中心に、八ご通過を入善駅に奉迎するとか、十三日午前七時すぎ市町の各会場で国体旗リレー、二十三日午前八時すぎ、自転車ロードレースの声援などと、テンヤワンヤのさわぎだった。

国体が本県で開催されたおかげで、おそらく一生涯国体を見ることのできそうもない立場の人たちも、参観式には、天皇、皇后両陛下が御臨席になったので、国体熱はいやがうえにも高まった。開会式に入場の幸運にめぐまれたものはもちろん、テレビやラジオで、両陛下のお姿を見、お声を聞いた県民のだれもが両陛下ご来県の光栄に感激し、国体のりっぱに終るよう祈らぬものはなかったであろう。

この国体開催に、競技の会場地とはならなかった入善町ではあるが、十八日午後五時四十五分、両陛下の通過を入善駅に奉迎するとか、十三日午前七時すぎ町の各会場で国体旗リレー、二十三日午前八時すぎ、自転車ロードレースの声援などと、テンヤワンヤのさわぎだった。

国体が本県で開催されたおかげで、おそらく一生涯国体を見ることのできそうもない立場の人たちも、参観することができ、体育を理解するきっかけとなったことは、国体を通じて県民に自信と希望を持たせたことと相まって、大きな收穫であったといえよう。

人善町報

発行所　入善町役場
編集発行　責任者　中田憲政
印刷所　田中印刷所
定価1部5円

カゼの警報

県教委で

県教育長から各学校長宛にインフルエンザについての警報を発しています。各家庭でも十分注意し、予防して、〝カゼ〟にかからないように致しましょう。

警報の大体の内容は、次のようです。

新聞などの報道でご承知のとおり、去る九月上旬から関東及び京都方面にインフルエンザが流行しています。

この病気は、昨年十月から十二月にかけて富山県で猛威をふるい百校余の臨時休業をするにいたった「A東京五七型」とは菌型のちがったアデノヴイルスが検出されているといわれています。

本県では、今回の国体で、全国から多数の関係者が来県されたので、当然インフルエンザの流行地との交流もあるので、この病気の発赤と咽頭痛が強く、眼球結膜炎をおこし、おもに淋巴組織を好んで侵す特徴がある。

浸入が予想されます。それで、次の病状や予防法をご承知のうえ十分注意をし、予防に万全を期して下さい。

病状と予防法

① この病気は、三九度～四〇度の高熱が四～五日続く。特に従来の感冒とちがうのは、咽頭の発赤と咽頭痛が強く、眼

② 遠足・運動会その他の集会で、感染する機会が多く、疲労・過食による身体的条件も感染のもとになるから、流行状況を考えてこれからの行事の計画及び実施にあたること。

なお、運動後の汗の処理外出後の「うがい」、手洗いをおこたらないこと。

③ その他の予防については、従前の感冒と同様である。

メートル法一本の実施

町ぐるみ メートル化

十月一日から実施

明三十四年一月一日からわが国の「長さ」「重さ」の「ますめ」が、メートル法のみに統一されることは、みなさんのよくご存じのところです。

ところが、あと、わずかの月日で、メートル法に切りかわるというのに、あまりメートル法の勉強がなされていないのが実情のようです。

そこで、町では、明年一月一日が来ても、まごつかないよう、早くメートル法を会得し、なれてもらうよう「入善町メートル法推進委員会」を設けて、その対策を講じ、推進に努めています。

委員には、町長が中心になり、関係の深い機関の代表、各種業者の代表、婦人会長等が加わり、相談の結果、十月一日から全町一斉にメートル法を実施するよう働きかけることになりました。

むろん、今年中は、メートル法の練習期間、予行演習のような意味のものですが、一ぱん関係の深い商工会側—商店では、非常なはりきりぶりで、協力をしてもらっております。

このように、全町を挙げてメートル法に踏み切りをつけたのは、入善町は、県下のトツプのようです。

町氏の各位も、この推進委員会の主意をよくご理解になり、ご協力が願いたいものです。

各戸に、メートル法の換算表が配布されておりますが、それを見やすいところに貼っておき、十分勉強なさって、〝メートル法は家庭から〟の実をあげるように致しましょう。

各商店でも次のような表示を、すべてのお買物は一切、メートル法で取引を願っています。

お願い

明年一月一日より全国一斉にメートル法が実施されますので、当店ではメートル法に依り販売致しております

何卒お客様方のご協力をお願い申し上げます

昭和三十三年十月一日　店主

11月のこよみ

一日（土）文化財保護強調週間
狩猟解禁
所得税第二期（十一月中）
対而交通実施九周年
家畜寄生虫駆除月間
三日（月）文化の日
憲法公布十二周年
七日～九日　農産物品評会
八日（土）立冬
九日（日）町民体育大会（入中校庭で）
太陽暦採用記念日
十一日（土）赤十字デー
お年玉年賀はがき発行
三日（日）勤労感謝の日
新穀感謝祭
全国火災予防運動
大安の日（二日　八日　十二日　十八日　二十四日　三十日）
三日（水）
十二日（土）

子供服の寸法　イヤ　メートル法

（単位メートル）

品名		巾	3才～4才	5才～7才	8才～10才	11才～13才
男児服	上下半ズボン	W	1	1,4	1,6～1,8	1,9～2,1
	上下長ズボン		1,2	1,6	1,7～2,0	2·1～2,3
ワンピース	長袖	W	0,7	1,0～1,1	1,2	1,4
	半袖	S	1,5～1.6	1,6～1,8	1,9～2,3	2,3～2,5
ブラウス	長袖	S	1,1	1,0～1,4	1,4～1,5	1,6～1,7
	半袖		0,9	1,1～1,2	1,2～1·3	1.3～1,5
スカート		S	0,7～0,9	1,1～1,3	1,4～1,6	1,8～1,9
オーバーコート		W	0,9～1,1	1,2～1,3	1,3～1·4	1,5～1,6

W巾……ダブル巾　S巾……シングル巾

橙台記念日　明治2年11月1日、はじめて神奈川県観音崎に橙台ができた。

太陽暦採用記念日　明治5年11月9日、太陰暦をやめ太陽暦を採用、同年12月は2日で終り、その翌日を明治6年1月1日とした。

赤十字デー　明治19年11月15日、万国赤十字条約に加盟した勅令が公布された。

新語報告

ミ　友だち、日本では異性の友だちをいう
アリバイ　現場不在証明
インテリ　インテリゲンチャの略、知識人、知識人層
オブザーバー　会議などの傍聴者
カマトト　何でも知っているのに、自分をうぶに見せるためにワザと知らないふりをする人
ショー　見せもの
ゴシップ　うわさ話、雑談
カルテ　カードのこと、医学用語で診療録
クーポン　数線連帯乗車券
カンパ　仲間から集める基金

米作入善一に腰本さん

反当 五八八・九キロ

「米作入善一競作」の成績審査はこのほど終り、十一月九日午後一時表彰式が行われる。

この競作会に参加したのは二四点であったが、登熟期以後の天候不順と、ウンカの被害、倒伏などの災害を受けたため、一般に期待された成果があがらず、審査当時は十三点であった

反当五八八・九キログラム（三・九二六石）で一等の栄冠を得た腰本良造さんは、昨年も四・〇七石の成績で五位（三等）を受けた方である。

入賞者の氏名

一等　五八八・九キロ（三・九二六石）　品種　しろがね　新屋　腰本良造

二等　五八二・七キロ（三・八八五石）　品種　新金南風　小摺戸　寺林久雄

〃　五七七・〇キロ（三・八四七石）　品種　金南風　入善　田中栄作

三等　五六七・三キロ（三七八・二石）　品種　豊秀錦　青木　笹原久松

〃　五〇八・三キロ（三・三八九石）　品種　越南十五号　横山　草野啓次

〃　五〇六・八キロ（三・三七九石）　品種　しろがね　横山　神子沢林作

第七回 家畜共進会

本町第七回家畜共進会は十月二十四日午前九時から家畜市場で開かれた。出品点数は和牛四七点、乳牛一二点、馬八点、豚一三点、山羊一二点、めん羊一五点、鶏一三点である。

入賞者の氏名

△和牛
優等　飯野　元田茂平
一等　青木西野宇之次郎
〃　椚山　青木幸作
二等　新屋長谷川津太郎
〃　青木　松平良
〃　椚山　坂東幸作
〃　上原　吉島十作
〃　〃　村田浅吉
〃　椚山　高見清作
〃　青木　笹原兵作
三等　田中賢重外十三名

△乳牛（経産）
一等　椚山　久保清松
二等　新屋島尻宗右ヱ門
三等　池田与吉外一名

△乳牛（未経産）
一等　上原　西村保
二等　小摺戸小林與三雄
〃　青木　松本市郎
三等　福沢修一外四名

△馬
一等　新屋　西島佐次郎
二等　上原　目沢由次郎
三等　籠瀬栄松外一名

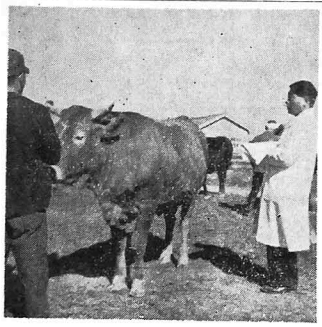
△種豚（経産）
一等　飯野　清水栄松
三等　椚山　池原与一郎

△種豚（未経産）
一等　椚山　島　千次郎
二等　青木　松田久作
〃　飯野　伊野一郎
三等　永井常四外三名

△山羊
一等　椚山　上野幸作
二等　小摺戸　小路正行
〃　椚山　青木吉造
三等　長谷川喜一外三名

△種鶏
一等　上原　浜西賢
二等　入善　入善高校
三等　五十里良作
〃　広田重安外四名

△めん羊
一等　小摺戸　城崎久義
二等　入善　田中作造
〃　椚山　坂東佳太郎



—— 乳牛審査の状況 ——

個人事業税の納付 早めに願います

（魚・税）

十一月三十日は、個人事業税第二期分の納税期限です。納期が接迫しますと混雑するので、早めに納めましょう。

十一月三十日は、日曜日ですので、十二月一日扱いをいたします。

いつものことですが、納める日を忘れていて、納期限後に納税するため思わぬ延滞金や延滞加算金を納めなければならないと多くの人が思うのですが、今年こそ納期内に完納するようつとめましょう。

念のために第二期分の納付案内は、十一月二十日頃にお届けしますが、すでに第一期のときに令書で、ご案内してありますので、今回の納付額もわかっていることでありますから、今から準備しておいて下さい。

土地改良区の総代 二五六名 決る

本町土地改良区総代の任期が十月十九日で満了（任期四年）するので、十月十七日選挙を行った。その結果つぎの二五六名が総代ときまった。

◎入善地区

【第一区】田中文次郎　米沢今朝心　田中忠一　米沢力松　尾崎啓重　田原一郎　岡定吉　竹内幸作　室栄次郎　知行　竹内幸作　室栄次郎　初郎　上田寅吉　上田甚吉　上田三郎　上田正作　上田　田久松　上原武一　池田久作　大野勇一　西尾次郎　川端八平　柏原盛正　柏原武次郎　北尾庄松　上原勝一郎　福島仙次郎　柏原良作　本田吉右ヱ門　川端義助　上原与三吉

【第二区】米原初郎　林　田中広久　田中行雄　五十里久作　米沢俊男　五十里　初郎　米沢正雄　紋左ヱ門　沢田昇次　田中多喜知

【第三区】大角仲於　平柳健一　大角啓太郎　田又　明二　大角一雄　大角善二　上野新作

【第四区】室又次　綿兵作

【第五区】本多佐四郎　金沢重次郎　中瀬栄作

○上原地区

【第一区】中嶋栄作　道　泉忠一　中林秀雄　高山米次郎　西川正一　西川庄　松島武芳　松平勇松　細木　原与造　山崎修一

【第二区】内沢力造　笹原兵作　高沢清一　川原勇　川原久吉　木沢久光　木沢　金田岩男　愛場正雄　草島善一郎　草島功

【第二区】福島重義　広清正一　松原庄二　西村亀次郎

【第三区】上原与作　浜　田久松　上原武一　池田久作　大野勇一　西尾次郎　川端八平　柏原盛正　柏原武次郎　北尾庄松　上原勝一郎　福島仙次郎　柏原良作　本田吉右ヱ門　川端義助　上原与三吉

◎青木地区

【第一区】泉昌平　松島　仁次郎　北川一雄　笹原久　松　松本良一　松島忠治　泉忠一　中林秀雄　高山米次郎　西川正一　西川庄　松島武芳　松平勇松　細木　原与造　山崎修一

【第二区】内沢力造　笹原兵作　高沢清一　川原勇　川原久吉　木沢久光　木沢　米沢郎　木本良作　古本政雄　本田芳一

【第三区】杉原與吉　杉原豊次郎　杉沢善作　杉原豊吉　杉原礼次郎　杉沢幸与吉　杉沢光憲　福島清　宝泉勝男

【第四区】福島清　宝泉

○小摺戸地区

【第一区】舟根久秀　長谷川幸栄　馬田得夫　寺林盛義　松原栄蔵　寺林茂　小路栄吉　寺林輝久　杉本米次郎　伊林伝右衛門　伊林啓　寺林義雄　石川正義

【第二区】長谷川秀與　城崎將雄　柳沢信作　秋元耕順　秋元伊与門　柳沢善逸　下田政次　谷川鈔造　城崎久義　永井康昌　岡幸作　福沢義昌　沢飯朝雄　高島健治　青木忠義　若島勇作　川原久光　森田　堀諸兄　小堀力松　谷田幸作　新田虎松　橋本初太郎　新田義政　長谷川千次郎　中林佐一郎　米田仙次郎　寺崎清作　寺崎元貞　寺崎啓太郎　寺崎　秀次郎　吉野勇二　早川栄造　盛田功　米山令丞　舟根政輔　米山秀吉

【第三区】鍋島鉄義　坪野利揚　鍋島宅次郎　鍋島　武義　鍋島興一　水野清松

（次頁下欄へ続く）

今年の稲作を顧みて

柏原技師との対談

倒伏とウンカの被害で思わぬ失敗をし、損をしながらひとにわらわれるといったわけで、今年の稲作は大豊作の予想に反したことおびただしかった。おそらく、どの農家でも、昨年の收穫を終ったあとで、〝来年こそは〟と気おわれたことでしょう。来年こそは、今年のテツを踏まえよう、第五年目の豊作を期したいものです。

記者は十月半ば、今年の収穫の山が見えたころ、農業改良普及事務所を訪ねて、柏原技師と一問一答した話を來年の参考にもと思いお伝えします。

× 天候のワザとはいえ、大豊作をとり逃がして残念でした。倒伏の失敗はあながち天候のワザばかりではないでしょうね。

○ そうです。ウンカの被害の特別に大きかったところを除き、正しい施肥をしている方は、やはり増収しています。

一般に「むりごやし」が多いようです。大豊作は肥料ばかりで左右されるものでもない。土地に潜在している窒素は九〇貫程度（反当（以下同じ）。潜在窒素はすぐには吸收されないもの

× では、安全な施肥量は窒素でどれくらい？

○ 一石の米を作る必要窒素量は一貫～一貫二百が標準です。反当三石の収穫が目標とすれば、三貫三百前後、私ども実際指導に当っては、それに一～二割歩増して四貫前後ところが農家では、それにまた一～二割歩増しをして、四貫五～六百としていますが、そうするとやく一貫の「ムリゴヤシ」をしているわけで、倒伏するのが当然です。

× しかし、品種によってちがうのでないですか。

○ 三貫三百、中晩生三貫六百が標準。ただし早生のうち十和田、藤坂は多肥

× 農家では、堆肥肥は計算に入れていないようですね。

○ 厩肥といってもまちまちですか、大体次のような窒素量があります。

豚　○・三%
牛　○・二%
馬　○・二五%

実際は、豚は○・六%というふうにもっと多いのですが、肥料設計には右の数字を使います。

堆厩肥は、土をよくするばかりでなく、肥料を保つ力―保肥力が多くなりますから、是非やらねばなりません。

× 増收のコツをどうぞ。

○ 増收の基本は

1. 穂数
2. 穂の大きさ
3. みのり

でありますから、植付肥と初期追肥で本数を多くし、幼穂形成期近くで色をさめさせて丈夫に育て次に穂を大きくする穂肥をやることです。しかし早生は穂肥は考えもの。

一般に穂長型には穂肥の効果があります。

× 今年は田干しが励行されていたようですね。

○ 今年のように許容限度を七〇%以下にすること）

子供の火遊び防ぎましょう

入善警察署

火あそびは、ほんのわずかの注意で防ぐことができます。本年五月、〇〇町で十才になる子供が、遊び友達のいない淋しさからマチを持ち出し、火遊びをしているうちに、つい家を焼いてしまいました。

また、消防自動車のサイレンが面白くて火をつけた事件、女中に来た子供が家に帰りたくなって火をつけた事件など、むかしから火あそびは、ほんのちょっとの子供のいたずらから、恐ろしい火事となっているのです。

火あそびは正しいしつけで防ぎましょう

ではどうすれば防ぐことができますか、みんなで考えてみましょう。

◎マッチの始末はお母さんが致しましょう

◎花火のように危い遊びはみんなの見えるところでやりましょう。

◎危い遊びを見たらみんなで注意しあいましょう。

しかし、一番大切なことは火に対するしつけを良くすることでないでしょうか。

火事があると、警察はお父さんお母さんと一緒にしつけをなおす方法を考えます。

もし、不幸に火事がありますと、警察は火事になった原因を調べます。

ボヤでも原因が分らないときは、捜査本部を作って捜します。

それが子供の火遊びとわかりますと、警察は、お父さんお母さんやその子の保護者と相談して、一緒にその子の悪いしつけを治す方法を考えます。

「警察は、子供を罪人にする」とお考えのお父さんお母さん、子供のために嘘を言ったりしてかばうお父さんお母さん。かなしいことですが非常に多いのです。

子供の悪いしつけに泣きながら、警察をさけている お父さんお母さんがおいでしたら、いますぐ気軽に相談においで下さい。

子供のしあわせは日本のしあわせです。警察もお父さんお母さんと一緒に、そのしあわせを作りたいものです。

‖右側通行‖ 負うた子が教える

最近、入善町筋を登校する〝よい子たち〟が、整然と二列にならび、右側通行をしている。通り合せたれもが、立ち止って、シーツと感嘆の目をみはっている。

これについて入善小学校の先生に聞いてみると

「あれについては、児童会（会長三日市寛治君六年生）が申しあわせてやっていることで、学校はタッチしていない。

秋にないて、学校の行事が多くなるにつれ、子どもたちが廊下をバタバタ通るので、児童会の問題となり、

・廊下の通行は、右側通行を守ること

・先生などへのおれのしかた方を正しくすること

などを決めた。

その後の児童会で学校内のきまりを、学校外でも行うことにしようと

・各町内ごとに登校時刻と、集合場所を定め、二列で団体登校すること。

しかし、むりじいしない。

このように申し合せ、実行しているのである。

以上のようなわけであるが、これは、おとなの世界にも移すべきよい習慣だと父兄たちが語っている。

付番者高齢者高善町入

昭和33年10月　数え年85才以上

蒙御免

東方（入善、椚山、横山）新屋
西方（飯野、上原、小摺戸）青木
四九名　三二名
元進勧

入善町民生課

東

横綱	新	松原はる
大関	横	真岩せい
関脇	〃	広川つい
小結	〃	沢田善次郎
前頭	入	五十里岩次郎
〃	椚	池原さと
〃	〃	〃
〃	〃	〃
〃	〃	〃

公民館結婚をどうなすべきか

〝娘三人とつがせて、身代限りをした〟とか、〝お嫁さんをもらったが、嫁どり費用の借金で、三年も五年も苦しんだ〟というような悲劇？は、今までに数えきれないほどある。

結婚は、男にとっても、女にとっても、最もうれしい、人生最大の意義ある行事である。にもかかわらず あきらめきれない散財となったり、見とおしのつかない借金となって、長く苦しめられるのであったら、結婚もウカツにはできない。

公民館結婚は、結婚の封建性を打破するために生れたもので、「むだな出費を節約し、簡素ながらに厳粛優雅な様式で！」というのが、そのねらい。

この町でも、各地の公民館結婚の様式を参考に、その長所をとり入れて「入善町公民館結婚式要綱」を作ったのは、昨年の十一月であった。それから一年を経た今まで、公民館結婚の行われた数は、中央公民館では一組、笹原分館では二組、小摺戸分館では二組、八幡分館では一組といった低調子、披露宴だけを公民館で数回行った八幡分館があるという程度である。

現在のところ県下で公民館結婚を行っているのは、入善と魚津市道下の公民館だけらしい。（そのほか婚礼の貸衣裳をしている一館、結婚相談室を設けているのが一館ある）

道下公民館は、入善よりも一月早く公民館結婚をやりだしたが、まる一か年間に十八組の結婚式が挙げられている。一たいどうしての町の公民館結婚が振わないのであろうか。おたがいによく研究し、改善して、〝結婚式は公民館で〟やるべきものというまでにしたいものだ。参考のため、道下公民館長さんのお話をお伝えする。

道下公民館長の談話

われわれの生活をよく考えてみると、よくない因習や、不合理や、無駄がとても多い。これらを取り除いて、合理的で、民主的な明るい家庭、社会をつくらねばならないといって、「新生活運動」が展開されているが、その中でも最も早くから改善がさけばれ、その必要性の高いものは、結婚改善の問題であろう。

道下区内においても婦人会あたりがこの問題を取り上げ、結婚衣裳などを調達して、公民館結婚を奨励することになったのである。

今まで十八組の公民館結婚があって、みんなから喜ばれているが、しかし、生えぬきの区民は全然利用せず、焼け出されや、入居者だけである。結婚式費用は、一万数千円、二万円を越えたものがない。

道下公民館結婚式規定の主な点

- 衣裳使用料　二千円
- 公民館使用料　一千円
- 酒は二合瓶、持込酒は二合まで（かん代五十円）
- 使用時間は二時間
- 希望により神官、着付、写真のあっせんをする。

さて、入善の場合はどうかといえば、大体道下と似ているが、来賓のお祝品持参を廃し、三百円の会費を出すことになっていて入善の方が、一歩進んでいるといえよう。ただ、道下にくらべてみて、細かい規定のため、とりつきにくいのと費用が多少かかりすぎるが、今後改善すべきだと、一般に評されている。

食生活の改善 —1—

食生活の改善ということは、食習慣の改善の意味である。習慣と名のつくものは、何によらず、これを改めることは、非常な困難が伴うものである。なかなかかんたんに変えうるものではない。

まして、祖先伝来、みずほの国として、お米を食べお米さえあれば梅干、日の丸弁当で十分生活出来ると考えていたのだから、今さらお米の過食がいかんとかお米の栄養では、成長発育とか、健康保持のとかいうことは、ちょっとおどろきだ。

こんどの戦争が、敗戦になるまで、日本人は、栄養なんていう問題を、そう深く考えてみる人は少なかった。栄養なんていうものは、病人の治療、栄養療法、たとえば、結核、腎臓疾患の栄養療法など、健康保持のための栄養は、ただ、丸々とふとっておれば栄養がいいといった程度の一般の知識程度であった。ところが敗戦になって、われわれの目前に現われたのは、六尺豊かな大男で、しかも血色のよい、ピチピチとして、いかにも活気にみちたアメリカ人を見て、あれは一体何を食べているんだろうかなんていう問題を、どうしたら、あんな立派な体格になるのであろうか？　われわれは驚異の目で眺めたものである。

さらにまた、彼等と交ってみて、彼等の食事の量の多いのにまた一驚した次第である。とうてい、われわれでは、二人前乃至三人前も食べなければ、腹の虫がおさまらない程の極めて少量の食事で、彼等は満足している。

ここに、われわれは大いに反省と、自覚をする必要があるのである。

日本人の食事は牛飲馬食である。とにかく、多量に食べなければ、仕事ができない。それでいて、体格は極めて貧弱である。顔色も悪い。

それに比べると、アメリカ人の食事はわれわれの半分以下の量で、体格は極めて優秀であり、血色もすばらしくよい。

寿命の長さからいってもアメリカ人の平均寿命の長さは七十才を超えている。

それに反して、日本人のそれは、最近著しく長命になったといっても、まだ六十四、五才で、アメリカ人と比較して数年のひらきがある。

ここに、栄養問題をつづく考えてみる必要があると思う。

（厚生省が発表したもの）

教育委員会の新機構

新委員に新田義政氏

二年委員であった若島助右エ門氏の教育委員の任期が九月三十日で満了したので、米沢町長は、後任に本町新屋新田義政氏（55）を選任した。（九月二十六日の町議会で同意）

十月一日午後三時から町教育委員会を開き、委員会の組織について協議し、任期満了になった委員長及び委員長職務代理者の互選を行った結果次のようにきまった。

教育委員会委員長　中川正明
企職務代理者　滝本菊平

おそい米の出荷

昨年同期には予約量を突破していた米の出荷は、今年は、收穫期に雨の多がったと、減收のためとで、出廻りは多少わるい。

十月十日の第二期締切り日現在での出荷量は、一四四、一二二俵（五七、六四八石八斗）で、予約量一六一、八六七俵（六四、七四六石八斗）に対し、一七、七四五俵（七、〇九八石）の出荷不足である。

これについて、食糧事務所の広沢人善出張所長は次のように語っている。

今年は、草出来頃の予想よりも二割強の減收（昨年に比し一割五分減の見込みか）でなかろうか。それにもかかわらず、予約完納を目指して努力しておられる農家に対し、感謝の意を表したい。あと、残る十一％の出荷をなし、めでたく完納されますよう切望して止まない。」

10月10日現在 予約米出荷状況

	出荷俵数	不足俵数	出荷率
善原	14,451	3,237	81.8%
本野	17.895	4,353	80.4
戸	15.340	1,539	90.8
摺	24,324	1,396	94.4
屋	14,486	1,924	88.2
山	25,673	2,132	92.3
山	18,028	1,669	91.5
飯	9,792	1,015	90.6
尾	3,186	384	89.2
入上	947	96	90.7
青	144,122	−17,745	89.0
飯			
小			
新			
椚			
横			
沢			
西			
計			

国体出場選手

本町出身者の壮行会

十月十九日から開かれる国民体育大会に本県から出場する選手の中に左記町出身者がいるので、十月十日午後四時中央公民館和室で壮行会を開いた。

出場選手の氏名

△野球　林美能留　村田正義　稲場元治　板川兼三
△バレーボール　山崎栄一　広川哲夫　尾崎秀男　宝田昭治
△サッカー　川田達雄
△ラクビー　野坂宗順　野坂義夫
△ソフトボール　今井清志
△リレー　松島健次　砂沢清　西島幸勇　西島真美　伊林正子　杉本丸子　水野和子　高田栄子

——国体出場選手の壮行会——

黒部西瓜 よいタネを選奨

天下の名物の一つである黒部西瓜の優良品種を保存し普及するため、八月十九日〝黒部西瓜優良種子選奨会〟を開き、試食並に甘味の測定、球形などにつき審査した。

審査の結果次の入賞者に対し、十一月九日その表彰式を行う。

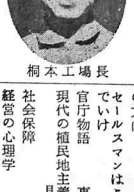
受賞者氏名

一位　小摺戸　福沢万次
二位　青木　藤原武雄
三位　椚山　青木信三

新工場長の着任

吳羽紡績人善工場長の小林孝雄さんが転任になり、その後任として桐本他喜男さん（51）が就任された。

桐本さんは、井波工場、吳羽工場、大町工場、本社勤務を経て入善工場に来られた方。〝一時国外にも出ていたこともあるが、本内の勤務が通算三十年になるので、生えぬきの富山県人のような気がする〟と語っておられる。



桐本工場長

11月9日 9時

町民体育大会

入善中学校々庭で

入善図書館新着図書

書名	著者名
日本の断面	唐島基智三
悪党時代	大宅壮一
耳をとらなった話	邸永漠
現代日本の考察	亀井勝一郎
古代殷帝国	具塚茂樹
講座現代倫理 七冊	古田晃
東洋思想講座 三冊	至文堂
有職故実研究	石村貞吉
日本民俗学大系 三冊	下中彌三郎
風土記日本 四冊	下中彌三郎
現代モラルと道徳教育の方向	稲田三郎
セールスマンはこの手でいけ	小林正二
官庁物語	東京新聞社
現代の植民地主義	具島兼三郎
社会保障	坂寄俊雄
経営の心理学	菅谷重平
金と人間	近藤信緒
地獄遍路	草地貞吾
警察	佐藤功
事業経営泣き笑い	益田金六
あなたはレイアウトする	谷口芳三
料理のお手本	辻嘉一
家庭の事典	岩崎書店
きものと私	大塚末子
家の建て方	永井玉吉
日曜花作り	穂坂八郎
飼料綜典	佐々木林治郎
切手の愉しみ	市田佐右一
鶏の飼い方	中村孝靖
政治と文学	加藤周一
随筆集刈藻	室生犀星
昭和秀歌	坪野哲久
百年の鯉	火野葦平
〃	
深沢七郎	
原田康子	
織田作之助	
有吉佐和子	
美つつ庵主さん	
刑事部屋	
河童会議	
笛吹川	
原田康子	
廃園	
螢	
忘れ得ぬ人	
夜の顔役	
春の月	
素浪人参上	
日日の背信	
雪姫七変化	
青空娘	
青空大将	
青空大名	
探偵女房	
大林清	
下村明	
梅崎春生	
城昌幸	
丹羽文雄	
沙羅双樹	
源氏鶏太	
林二九太	
林一九郎	
宮下昌也	
獅子文六	

あとがき

町報を保存しているが、一、二号欠けて不満足の思いをしていなさる方は、私方へ申し込んでください。できるだけのご便宜をはかります。

なお、表紙（六十円）のご入用の方は早く申し込んで下さい。　—中田—

奥さんのメモ

化学繊維品の特長

◇ナイロン

金鐵製の中で一番軽く、引張ったり、摩擦してもなかなか切れない。湿気をあまり吸わず、汚れがつきにくく、保温性も良い。その上薬品にも強く、虫やカビの害を受けないなどの特長がある。

◇ビニロン

木綿の二〜三倍の強さがあり、羊毛より軽くて温いなど羊毛と木綿の良さをもち、ナイロンと同じくカビの害を受けない

◇アセテート

羊毛と同じく大変軽い またシワがつきにくく、着くずれも少い。肌ざわりも柔らかで温かく、汚れがついても落ちやすいなどの利点がある。

一本の糸の強ちを比べると、ナイロンが一番強く、次が絹、ビニロン、木綿、アセテート、羊毛の順序である。